

International Conference on Pharmaceuticals, Nutraceuticals and Cosmetic Science (IPNaCS 2018)にてポスター発表

2018年11月22日から23日にかけて、フィリピン・マニラにて開催された International Conference on Pharmaceuticals, Nutraceuticals and Cosmetic Science (IPNaCS 2018) に参加し、ポスター発表を行いました。本学会には、アジア各国から薬学、食品、化粧品に関する研究者約400名が集い、口頭発表とポスター発表が行われました。私は、Oral formulation development of lipid nanoparticles containing nobiletin, a poorly water-soluble compound (難水溶性化合物 Nobiletin 封入脂質ナノ粒子経口製剤の開発)」というテーマで、ポスター発表・質疑応答を行いました。本研究は、抗糖尿病効果が期待される難水溶性化合物 Nobiletin の溶解性及び吸収性改善を目的としており、本脂質ナノ粒子が糖尿病治療を目指した経口製剤として応用できることを報告しました。海外の多くの先生方や学生の皆さんから様々な質問やアドバイスをいただき、さらにベストポスタープレゼンテーション賞を受賞することができました。

私にとっては初めての国際学会ということもあり、緊張と不安でいっぱいでしたが、自分の研究についてより深く考察する良い機会となり、また様々な国の研究者の方々とディスカッションで新たな発見をすることができたため、非常に有意義な時間となりました。また、様々な分野の発表を聴講することで、多くの刺激を受けました。今回の経験により、今後の研究活動だけでなく、英語学習にも力を入れ、これからも精進していきたいと感じました。このような貴重な機会を与えてくださった、本学の国際学会発表支援事業、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 創剤工学研究室
博士前期課程2年 松尾聖羅